



# 図書館だより

宇都宮市立陽北中学校  
令和5年 11月号



朝晩が寒くなり日中との温度差があります。風邪をひかないように気をつけましょう。また、日没も早くなりました。秋の夜長、読書を楽しんでください。先生方のおすすめ本もぜひ借りてください。



## 「犯人はお前だ！」秋のミステリー特集



11月9日(木)スタート!



陽北 Library で見ることが  
できます。リストもあります。

### 図書委員会企画

秋の夜長にミステリー小説はいかがですか？ドキドキしながら読んでください。

この特集コーナーの本を借りると素敵な「しおり」がもらえます。

陽北 Library の「予約フォーム」から予約できます。



## 先生方のおすすめの本を紹介します！



図書館にコーナーを作りました。東西通路に掲示してあります。  
陽北 Library にも載せました。「予約フォーム」で予約することもできます。  
用意ができましたら、教室まで届けます。ぜひ読んでください！

### 藤井崇副校長先生 『スクール・ウォーズ』 馬場信浩/著 光文社 783/バ



ある高校の弱体ラグビー部が、わずか数年にして全国大会で優勝するまでの奇跡を描いた小説です。テレビドラマ化や映画化もされています。

2019年に東京で開催されたワールドカップでは、日本代表が格上のチームを相手に劇的に勝利を収め、日本中が歓喜に沸きました。今年、フランスでワールドカップが開催され、日本代表の活躍が期待されています。みなさんにも、さらにラグビーの素晴らしさを知ってもらいたいと思い、この本をおすすめしました。

### 菊池美智代先生 『深呼吸の必要』 長田弘/著 晶文社 911/才



「あのときかもしれない」大人になったのは・・・  
ちょっとずつ大人になっているんだなあ、自分も。  
でも、子どもでいたいなあ、ずっと。  
いろいろな「あのとき」をこれから経験して下さい。

**山田真理子先生 『風が強く吹いている』 三浦 しをん/著 新潮社 913/ミ**



来年 2024 年 1 月 2 日・3 日の箱根駅伝は、記念すべき第 100 回大会。この絶好の機会に、こちらの作品を読んでみませんか？寛政大学 4 年生「ハイジ」の声で、ポロアパートに集った個性豊かな大学生 10 名が箱根駅伝出場を目指すことになるストーリーです。しかも、メンバーのほとんどが陸上競技素人、さらに各々が数か月以内に駅伝区間距離 20 キロ以上をかなりの速さで走れるようにならなきゃならないというトンデモ展開。この無謀な挑戦の結末や如何に！？コミカルなキャラクターと痛快なストーリーで、まるで箱根路を駆け抜けるようにサワサワと読み進められる一冊です。箱根駅伝を目指す大学生たちの陰の努力や裏側も垣間見られて面白いです！！箱根駅伝を見る面白さも倍増！！

**鴨澤航平先生 『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』 七月 隆文/著 宝島社 913/ナ**



「あなたの未来が分かるって言ったら、どうする？」奇跡の運命で結ばれた二人を描く、甘くせつない恋愛小説。彼女の運命を知ったとき、きっと最初から読み返したくなる。(公式あらすじより)

言葉の裏の存在や、「伝える」ことの大切さとムズかしさ。人と関わることの意味をキュンキュンしながら感じられます！

**南木夏実先生 『夜行観覧車』 湊 かなえ/著 双葉社 913/ミ**



高級住宅地で繰り広げられる家族を中心としたミステリー小説。それぞれの家庭の中学生を中心とした家族の描写に、リアリティーを感じます。実写化されていますがぜひ小説で！！

**河野幹大先生 『モモ』 ミヒヤエル・エンデ/著 岩波書店 943/エ**



時間泥棒と、盗まれた時間を人間に取り返してくれた女の子の不思議な物語。廃墟となった円形劇場に住みついた少女モモを、街の人々で面倒を見ることになった。やがて、不思議な力を持つモモは、街の人々にとってかけがえのない存在になっていく。そんなある日、街に灰色の男たちが現れ、街の人々は彼らに時間を奪われてしまう。約 50 年も前の作品だが、自分を見つめ直すきっかけになる。時間に余裕がなく、毎日忙しく生きている人に読んでほしい一冊。

**落合由美先生 『リトル・ダンサー』 メルヴィン・バージェス/著 愛育社 933/バ**



大好きで何度も見ている映画の原作です。イギリスの炭坑の町が舞台。鬱々とした背景の中、全く似つかわしくないバレエに自分のあり方を見つけ出した少年ピリーの話。家族、友人、恩師らの愛情を支えに、成長し夢を実現させていく姿に涙と笑いと感動をもたらしてくれる一冊です。映画より深い人物の掘り下げ方に夢中になれます。でもやっぱり、オーディションの場面やラストの感動は映画で是非。息が止まる・・・とだけお伝えしておきます。

**秋場有美子先生 『百年厨房』 村崎 なぎこ/著 小学館 913/ム**



主人公石庭大輔は、石材商の旧家に住むことに。そこに大正時代から女中のアヤさんがタイムスリップして来ます。さらに大輔の友人篠原と姪ルナとの 4 人暮らしがはじまります。アヤさんが作る大正時代の料理は、みんなの心も繋げてくれて読者をほっこりさせてくれる物語です。宇都宮市大谷町が舞台で、章ごとに出てくる料理も魅力的です。